



社会福祉法人 吉備路の会

吉備路学園

第53号

令和3年1月25日 発行



発行

社会福祉法人 吉備路の会
吉備路学園
〒719-1155
岡山県総社市小寺1553番1
TEL(0866)92-6580
http://kibijigakuen.ecgo.jp



乗り切る

マスクが生活必需品となり、東京オリンピックも延期となった。新型コロナウイルスによってありとあらゆるものが激変した二〇二〇年でありました。新型コロナウイルス感染症拡大している中で、平時からリスクの最小化をプランニングし、それぞれで綿密な準備をしておけば、安全な生活が送れるのではないかと思います。

そこで、相手を思いやる行動が必要になってくるのです。人間には見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れるといった素晴らしい5つの機能がありますが、日本人は嗅覚が大変優れている民族であります。昔から日本人は世界の中でも肉をあまり食べていなかった為に体臭があまりないので、匂いの世界に敏感な人種であるのです。

これら五感をいつも使い、刺激することで五感の育ち鍛えられ、もつと感覚が増えることがあるのです。それが第六感というものであります。一般的には想像する、予想するという感覚によく言われますが、本当は創造という方に当てはまると思うのであります。新しい創造力が出てくること、新しい物を作りだそうとすることが第六感ではないだろうかと思っております。人間が生きる中で五感をフルに使っていくことで、どんなに素晴らしい行動が生まれてくるのでしょうか。相手を思う考えが多く入った理想的な行動が生まれてくるのではないのでしょうか。

考えるというのは思うことでもあります。ふっとしたことでも、やりっぱなしの純粋な思いが本当の思いやりなのです。思いは、やりっぱなしのものであるから尊いのであります。そして、物に対してもそういう思いの考えを持ってみることも大切なことでもあります。

私たちが常日頃行っている行動のなかにも、まだまだ自分の見方、考え方が違っていたというものがたくさん見つかると思うのです。そして、一つでも多く見つけていくことが課題だと思えます。これからは、理想的な用(ゆづ)というような行動が出来ることを目指したいものであります。

用(ゆづ)とは、人間の理想的な行動や生きざまのことです。

相手を思いやる行動

理事長 小原章弘



吉備路学園 自治会活動



1月7日
初詣



9月15日
ミニ運動会



7月7日
七夕



11月4日
ミニ吉備路祭り



12月23日
クリスマス会



10月20日
ハロウィン



寄付・寄贈・ボランティア協力

令和元年十二月一日

令和二年十一月三十日

〔敬称略・順不同〕

- 《寄付》
- 総社市総社地区社会福祉協議会
- 総社市阿曾地区社会福祉協議会
- 花房巨 山陽新聞福祉事業団
- 洲脇正 吉備路学園家族会
- 《寄贈》
- 草池貞男
- 《ボランティア》
- ヘアユニットリラ

編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。さて、令和二年は世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回された年でした。最初は遠い国での話だったものがあっという間に私たちの生活に影響するようになりました。感染症蔓延の記録で古いものでは紀元前四〇〇年頃のものがあるそうです。それから約二、四〇〇年が過ぎ、医学が発達した現代においても感染症の蔓延を防ぐことは出来ないのだと痛感しました。私たちは、正しい情報を正しく理解し正しい衛生管理をして、このコロナ禍を耐えていく事くらいしか出来ないのかもしれないと思います。

この様な状況を早く乗り切れる事を願いつつ職員一同頑張りますので、本年もよろしくお祈りいたします。



